



# 歴史認識の共有を

鳥取ガス株式会社

取締役社長

児嶋祥悟

衝撃的な米国多発テロと、アフガンへの軍事報復に揺れた昨年。二度の世界大戦を教訓に国家が戦争を行う権利を否定し、交渉による平和的手段を求めた国際的秩序は一挙に崩れ去りました。戦争は長びく不況にも追い討ちをかけ、底知れぬ不安感が心理的プレッシャーともなっています。

怨念の歴史に彩られた中東情勢。どの国も自分たちの歴史をもっていることは確かです。しかし、各国の歴史は必ずしも別個のものではありません。歴史は国家や民族同士が互いに関わり、からみ合って作られてきました。換言すれば、自国史の中には当然他国史も含まれ、その関わり合いによって互いの認識と理解を深めることが真の歴史教育と言えます。この地球を共有し、各国が共生しながら相互の運命にどう関わっていくべきか。根本理念に立脚しない限り、報復合戦では人類のあすは開けないと思われれます。